

# FAにおけるオープン化の推進(FAオープン推進協議会)

## 事業概要

継続

製造業オープン化

事業略称	FAOP	期間	1996～	予算元	メンバー会費	事業形態	任意
概要	<p>FAオープン推進協議会(FA Open Systems Promotion Forum : FAOP)は、生産におけるデータ交換・設計・管理・制御などの情報プロセスを「これからのものづくり」環境に適合させるために、製造設備のコントローラ・製造情報・データ表現から生産システム全体の構造に至る多くの側面で、オープンアーキテクチャに基づくニューテクノロジーの開発を推進し共通基盤技術の確立を目指す。本年度より「製造業向け分散連携システム」の関連の国際標準活動を開始する。</p>						
ゴール	<p>生産・製造に必要な様々な情報プロセス(設計・管理・制御・データ交換)と日本流の製造技術を、新しいICT環境と連携させるオープンな共通基盤技術を確立し、日本のものづくりを支援する。</p>						

## 2021年度 計画(左)／活動結果(右) [予算：1.9百万円／決算：1.9百万円]

運営委員会1回・企画部会7回開催	運営委員会1回(6月)・企画部会9回開催(4,5,6,7,8,10,11,1,3月)
「これからのものづくり」に関する、新しい4つの研究会設立し、活動を開始	「生産システム連携手法研究会」、「FAセキュリティモデル研究会」、「自律的生産スケジューリング研究会」、「製造業DX化ビジョン研究会」の4つを設立し、活動開始
技術セミナー「これからのものづくり」開催	上記4研究会に関するオープンセミナーを2022年度に計画
見学会	新型コロナ感染拡大防止のため、今年度は見送り
APSOMからMESX(Manufacturing Execution System eXchange)プロジェクトを引継ぎ、研究会を設立するとともに、「製造業向け分散連携システムのプロトコルとメッセージ」国際標準化活動を推進	上記「生産システム連携手法研究会」を設立するとともに、「製造業向け分散連携システムのプロトコルとメッセージ」国際標準化活動を経済産業省に提案

# FAにおけるオープン化の推進(FAオープン推進協議会)

## 2021年度成果

### ■ 成果

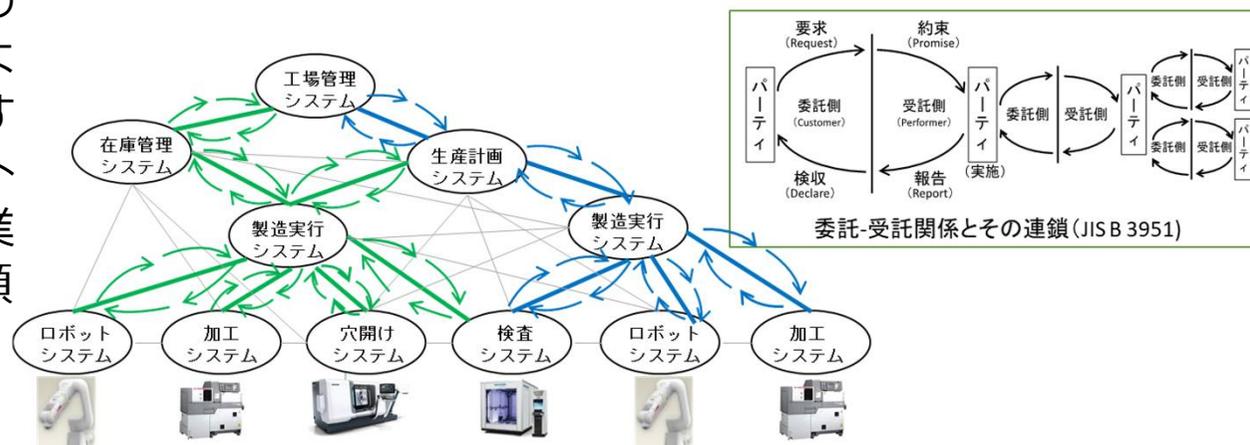
- ✓ 4つの新規研究会を設立、会員企業/団体/大学が参画
  - 生産システム連携手法研究会：7企業、1団体
  - FAセキュリティモデル研究会：7企業、1大学
  - 自律的生産スケジューリング研究会：6企業、1大学
  - 製造業DX化ビジョン研究会：5企業、1団体

### ■ 今後の見込み

- ✓ 研究会の活動計画具体化
- ✓ 研究会の活動実績報告書（中間報告）2022/5
- ✓ 製造業DX化ビジョン研究会の専門委員会への移行(2022年度)を提案

### ■ 生産システム連携手法研究会 <活動概要>

「委託－受託関係」に基づいた二者間のサービスの授受を単位としたその連鎖による製造ソフトウェアシステム間の連携をすることで、簡単・安価で柔軟な協力ネットワーク構築方法を提供し、分散型の業務連携のためのシステム間の共通手順及び交換する情報のガイドラインを規定



”委託－受託“関係の連鎖に基づく協力ネットワークの構成